

「創立10周年記念シンポジウム」(報告)

広島大学マスターズ会員 渡部 和彦

「広島大学マスターズ」の創立10周年記念行事として、記念シンポジウムを開催した。シンポジウムのテーマは、「学園都市・東広島の近未来を語ろう」であった。東広島市が、広島大学を含め、4つの大学を擁する学園都市であることに鑑み、学園都市の利点を生かし、活力に満ちた都市として更なる発展のため、大学と地域、学生と地域等の相互交流を含め、市が抱える主たる課題について提言をいただいた。「広島大学マスターズ」は、これまで、様々な面での地域貢献活動に関わってきた。市民の立場から、また大学に関わりの深い団体として、市民の皆さんと共に共通の課題について、活発に語り合うことが出来た。長丁場のシンポジウムであったが、途中で席を立つ人もなく、多くの参加者が、最後まで熱心に参加された。

以下、シンポジウムプログラムの概要を紹介したい。

日 時：2016年11月26日（土）14:00～17:00

会 場：東広島文化芸術ホール「くらら」（小ホール）

挨拶：広島大学マスターズ代表幹事 / 広島大学学長 / 東広島市長

基調講演：

小川 侃（京都大学名誉教授）「都市・文化・大学—自由学芸九科」

シンポジウム：「学園都市・東広島の近未来を語ろう」

-教育、産業・水資源、地域連携、芸術・文化、観光、etc.-

- ・塚本俊明（広島大学教授）「賀茂学園都市構想が目指したもの」
- ・河野憲治（広島大学マスターズ）「東広島市中山間地域の農地と環境をどう守れるか」
- ・小倉亜紗美（広島大学助教）「地域社会で活躍する学生—学生と地域が得たもの—」
- ・金田 晋（広島大学マスターズ）「東広島の文化と芸術」

コメンテーター：安藤忠男（広島大学マスターズ）、中光 幸（三ツ城自治協議会下見支部 学生部会・部会長）、上向 隆（東広島市観光協会専務理事）、槇原晃次（東広島市副市長）。

司会：渡部和彦（広島大学マスターズ） / 総合司会：平田敏文（広島大学マスターズ）

主 催：広島大学マスターズ・東広島市教育委員会

総括：

「大学が無ければ学園都市にならない」・「大学があるだけでは学園都市にならない」